



2013年度のサーティフィケート授与と 研究プロポーザル発表会について

スーパー連携大学院コンソーシアムwebニュース
2014年4月25日号

- 目次
- [1] 2013年度 サーティフィケート授与
 - [2] 2013年度研究プロポーザル発表会開催報告
 - [3] 集合教育実施報告

[1] 2013年度 サーティフィケート授与

2013年度のスーパー連携大学院プログラムサーティフィケートを受講生の所属大学の修了式にて授与いたしました。本年度は、下記2名の受講生にサーティフィケートを授与いたしました。

・イノベーション博士候補サーティフィケート



(2014年3月24日 電気通信大学大学院 修了式にて)

電気通信大学大学院 情報理工学研究科
先進理工学専攻 伏屋研究室

土屋 寛明さん

・イノベーション修士サーティフィケート



(2014年3月20日 秋田県立大学大学院 修了式にて)

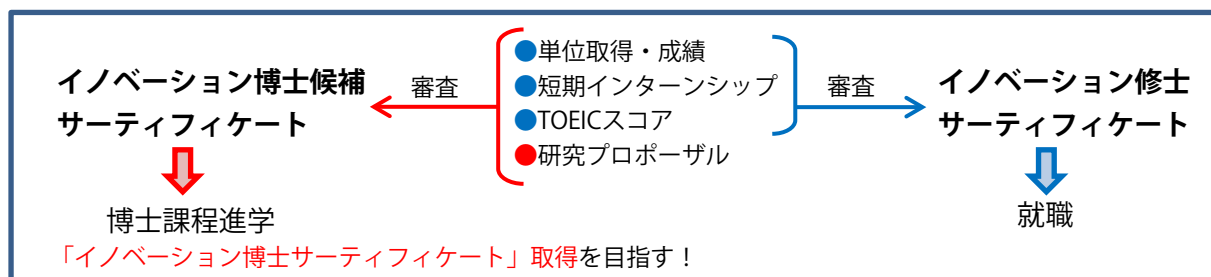
秋田県立大学大学院 システム科学技術研究科
機械知能システム学専攻 須藤研究室

篠崎 成大さん

●スーパー連携大学院プログラム 修士課程修了時の仕組み

スーパー連携大学院プログラムでは、修士・博士の5年一貫教育を基本としていますが、修士修了時点で成績や博士課程での研究提案（プロポーザル）審査を行い、合格者に「イノベーション博士候補サーティフィケート」を授与しています。スーパー連携大学院プログラムの博士課程に進学するためには、この「イノベーション博士候補サーティフィケート」の取得が必要です。

また博士課程に進学せず、修士修了後就職する学生でも、プログラムの修士課程の修了要件を満たしている場合には「イノベーション修士サーティフィケート」を授与しています。



※本メールニュース内の所属・役職・学年等は2013年3月時点のものです。

【2】2013年度研究プロポーザル発表会開催報告

●研究プロポーザル発表会の意義について



(写真左：会場全体の様子 写真右：受講生(片山さん)の研究プロポーザル発表の様子)

スーパー連携大学院プログラムでは、博士後期課程において産学官連携の共同研究による学位研究を行います。博士後期課程進学時には共同研究の研究課題提案と研究計画を発表し、研究プロポーザル審査を受けることになります。

本年度の研究プロポーザル発表会は、特別講演や受講生の研究進捗や研究計画を発表するポスターセッションを設けて、会員の皆様にも参加いただける公開型で3月10日に電気通信大学で実施いたしました。

●特別講演・研究プロポーザル発表について



(写真左：梶谷会長、写真中左：JNC(株)宮澤氏 写真中右：富山大所属受講生片山さん、写真右：電通大所属受講生土屋さん)

発表会では、まず梶谷誠コンソーシアム会長より主催者挨拶があり、特別講演「ものづくり企業としての100年の歩みと今後の姿」としてJNC株式会社 研究開発本部 副本部長の宮澤和利氏の講演が行われました。

次いで、受講生の研究プロポーザル発表が行われました。富山大学 堀田研究室の片山康太郎さんから「超音波画像診断装置による末梢神経の抽出および3D画像の構築」、電気通信大学 伏屋研究室の土屋寛明さんから「高温超電導材料の高特性化—鉄道用超電導ケーブルへの応用に向けて—」の発表が行われ、盛んな質疑応答が行われました。なお、土屋さんの研究はコンソーシアム会員団体である(公財)鉄道技術総合研究所との共同研究が予定されています。

●ポスターセッションについて



(写真左：ポスターセッション会場の様子、写真右：来場者に説明中の栗橋さん)

第3部のポスターセッションでは、下記8名の受講生のポスターが掲示され、来場者との熱心なディスカッションが行われました。

ポスター発表者・タイトル一覧

- 浦末 卓弥さん (大分大M1) 「化学的手法を利用した天然資源の利活用に関する研究
～セルロースをベースとした先進材料の探求～」
- 木山 正啓さん (電通大D1) 「全世界待望の近赤外ホタル発光材料でin vivoイメージングを新次元へ！！」
- 栗橋 翠さん (電通大D1) 「交通事故のリスク軽減システムにおける共助の導入と有効性の検証」
- 中島 拓真さん (電通大M1) 「クラウド環境における計算資源の動的共有手法」
- 林 俊行さん (大分大M1) 「嵩高い末端置換基を利用した側鎖型高分子における液晶秩序の制御」
- 布施 太章さん (電通大M1) 「マルチエージェントにおける協調形態の適応に関する研究」
- 松村 正隆さん (電通大M1) 「誘導結合型三次元積層プロセッサにおける最適なモジュール考案及び評価」
- 丸谷 大樹さん (電通大M1) 「ペン型デバイスを用いた理解しやすい動的GUIのデザイン手法」

【3】 集合教育実施報告

● 「現役社長の講話」について

“志”教育科目「現役社長の講話」は、受講生の“7つの志”を育むことを目標とする、スーパー連携大学院プログラムの特徴的な科目です。コンソーシアム参加大学の地元企業のご協力のもと、工場・研究所等の見学、経営者の講話（企業戦略や事例紹介）、ディスカッションを合宿形式で行います。

2013年度最後の集合教育として、3月5～7日に秋田県立大学で「現役社長の講話Ⅰ」が実施されました。



(写真左：天寿酒造（株）見学の様子、写真右：討論の様子 http://www.akita-pu.ac.jp/columnitem.htm?serial_no=365 より)

1日目は天寿酒造（株）と由利高原鉄道（株）を見学し、2日目は（株）三栄機械の齋藤民一社長、秋田プリマ食品（株）の丹羽博和社長、天寿酒造（株）の大井建史社長から、経営の概要や経営戦略などの講義を受け、熱心な質疑応答が交わされました。また秋田県立大学 谷内教授より、秋田の産業史についての講義がありました。講義終了後、受講生と講師を囲み、地元企業の方や学内の先生方も参加された情報交換会が盛大に行われました。

●2013年度に実施された集合教育一覧

科目名(実施大学)	概要(関連・協力企業)
現役社長の講話Ⅰ (秋田県立大学、3/5-7)	詳細は上記参照
現役社長の講話Ⅱ (富山大学、11/15-17)	見学：富山地方鉄道(株)、(株)廣貴堂 講演・討論：(株)タカギセイコー、(株)廣貴堂、富山地方鉄道(株)
現役社長の講話Ⅲ (大分大学、7/26-28)	見学：三和酒類(株)、池見林産工業(株) 講演・討論：モバイルクリエイト(株)、三和酒類(株)、池見林産工業(株)
ベンチャービジネス論 (大分大学、1/11-13)	企画・講演：野村證券(株) 内容：起業や企業内の新規事業開発について理解を深め、ベンチャー精神を醸成し、高い志を涵養します。
国際科学技術 コミュニケーション論 (電気通信大学、9/27-28)	講演：(株)トヨタIT開発センター、日本電気(株)、(株)日刊工業新聞社 内容：国際標準化、国際プロジェクト、研究提案、報道発表などの具体的活動を理解すると共に、それらの場面で必要となるコミュニケーション能力を涵養します。
ロジカルシンキング 入門・実践講座 (富山大学、①10/19-20、 ②11/30-12/1)	企画・講演：エフピーマネジメント事務所 内容：起業の準備段階はもちろんのこと、実際に起業し事業を成し遂げる目標設定の仕方や、計画遂行に必要な考え方など、どの場面でも根源的に必要不可欠な論理的思考を養い、もれなくダブリなく(MECE)計画し、実行する手法を学ぶのが狙いです。実践としてパーソナルファイナンス分野を論理的に学んでいきます。